

甲南大学ネットワークキャンパス東京
平成21年 夏季連続講座

空間経済学と新世紀

ーグローバル危機を乗り越えてー

開催日時 及びテーマ

講義 (18:30~20:00) 意見交換会 (20:00~21:00)

第1回 2009年 6月 16日 (火) 「空間経済学の基礎とその政策的含意」

第2回 " 6月 30日 (火) 「グローバル化と東アジアの将来」

第3回 " 7月 14日 (火) 「新世紀における日本経済と地域政策」

講師 藤田 昌久

甲南大学教授

独立行政法人 経済産業研究所 所長

京都大学経済研究所 特任教授

会場 甲南大学ネットワークキャンパス東京

受講料 10,000円 (3回分一括)

お振込方法は、申込書にご記載いただいた連絡先に 別途ご連絡申し上げます。
3回分一括にてお振込みください。当日 現金でのご納付は受付いたしません。

お申込方法

本チラシ裏面の受講申込書にご記入のうえ、下記までFAXにてお申込みいただくか、
必要事項をご記載の上、Eメールにてお申込みください。

なお、定員は40名とさせていただきます。

甲南大学ネットワークキャンパス東京

<http://www.konan-u.ac.jp/tokyo/index.html>

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー10F

TEL 03-6266-9520 FAX 03-6266-9522

Eメール nctokyo@adm.konan-u.ac.jp

サピアタワーは、

JR「東京駅」八重洲北口から徒歩3分 (日本橋口 隣接)

東京メトロ「大手町駅」から B7 出口 直結

空間経済学と新世紀 ーグローバル危機を乗り越えてー

国際経済のボーダーレス化が急速に進展する二十一世紀において、従来のような国際経済学、地域経済学、都市経済学といった細分化された学問では現実の世界を捉えきれなくなってきた。そこで、こうした地理的空間を対象とする経済学をもう一段高い視点から統一化した革新的な学問として、「空間経済学」が注目されている。空間経済学は、財や人間の多様性、生産における規模の経済、及び財や情報の広い意味での輸送費の三者の相互作用により生じる、経済活動の集積力とイノベーションの場の形成の理論を中心として、あらゆる空間領域における経済システムのダイナミックな変遷を統一的に理解しようとするものである。講師の藤田昌久教授は、この空間経済学を、2008年のノーベル経済学賞を受賞した米国プリンストン大学のポール・クルーグマン教授らと共に構築してきた。

この空間経済学は、経済のグローバル化と同時に国際地域統合や地方分権化が進展し、また都市や特定地域における産業集積や知的クラスターの果たす役割がますます重要になりつつある二十一世紀において、一国内の都市・地域経済の政策立案のみならず、多数の国を含む国際地域経済やビジネス戦略の研究においても、大きく貢献することが期待されている。

本講座では、空間経済学の基礎理論の平易な解説に引き続き、その理論を背景として、IT革命とグローバル化のもとに進展する世界経済のダイナミックな変化、深刻化しつつあるグローバル金融経済危機と東アジアの将来、さらに、この激変する世界経済の下での日本経済の将来と地域政策のあり方について、三回の講座において統一的に論ずる。なお、各回とも、講義に引き続き、懇親会において自由な討論と意見交換を行う。

受講申込書 : 甲南大学ネットワークキャンパス東京 夏季連続講座

「空間経済学と新世紀 ー グローバル危機を乗り越えて ー」

FAX 03-6266-9522 Eメール nctokyo@adm.konan-u.ac.jp

お名前 (フリガナ)	()
ご所属 (お勤め先など)	
ご住所	〒 _____ (ご自宅/お勤め先←いずれかに○)
お電話番号	(ご自宅/お勤め先←いずれかに○)
FAX番号	(ご自宅/お勤め先←いずれかに○)
Eメールアドレス	

お申込受付後、FAX またはEメールにて、受講票および受講料お振込みのご案内を差し上げますので、連絡可能な FAX番号 または Eメールアドレスをご記入ください。